



みどりの風

No.73 発行日 令和7年 4月5日

MIDORI NO KAZE

H.P <http://akaneen.com/>

新園舎の竣工を迎えて

理事長 岡崎 幸子

令和6年12月、法人として「2代目」となる本体施設（本場）が完成致しました。

念願の新園舎は構想12年、計画に着手し4年と1年2か月の工期を経てこの度の竣工に至りました。

竣工までの間におきましては千葉県及び地元習志野市の後押しのお蔭をもちまして国の補助金を頂くことができ、また工期中においては近隣企業様をはじめ、関係機関や利用者、家族の皆様のご多大なるご理解とご協力を賜り改めて感謝申し上げます。

建設地のお隣の敷地で過ごした「仮住まい」の約1年、利用者、職員達は旧園舎の解体から園舎が建設の景色の変わる様子をずっと目にしてきました。また、工期が予定よりも約2か月延長したこともあり、完成を待ち望む気持ちはさらに日に日に大きく膨らんでいたこともあって「少しでも早くお披露目しなくては」との思いから新園舎の引き渡しから約2週間で備品の設置や最低限の引っ越しを急ピッチで済ませ、何とか年内ギリギリの12月26日に利用者達への新園舎のお披露目と簡単な完成記念セレモニーを開催させていただきました。

当日は新しい園舎の園庭に全員が集合し、ファンファーレに合わせてのテープカット、その後約40年前に同じ地で行ったバルーンリリース（風船飛ばし）を皆さんで再現し、全員での記念撮影の後、いよいよ新園舎のお披露目です。館内に入るなり、目を輝かせ「ホテルみたい」と声を上げる方、ずっとキョロキョロしている方、自分の名前入りの靴箱を必死に探す方、自分の仕事場（工場）を見学してキリッとした顔つきになる方等、利用者達の普段見せない様々な表情に、私たちも嬉しくなり、この1年の仮園舎での苦勞がずいぶん過去の事ようにフッと気持ちが軽くなる思いにもなりました。

ほとんどの参加者にとって初めて尽くしの連続でしたが、たくさんの歓声と笑顔、そして少々の涙が入り混じった思い出深いセレモニーとなりました。



開所当初の再現。風船に思いをのせて。

利用者への新園舎お披露目から約2か月後の3月10日に外部の方をお招き、法人あひるの会新園舎竣工式を開催致しました。

当日は千葉県の障害福祉事業課より丸山課長、習志野市の宮本市長、千葉県知的障害者福祉協会の里見会長をはじめ関係機関や地元企業の方約70名の多くの方に足をお運び頂き、内覧会と竣工式を開催させて頂きました。

内覧会は本来であれば建物本体のご披露の場ですが、私たちはどうしても新しい園舎で利用者達が活き活き活動している様子を一緒に見ていただきたく、それぞれの作業場（ワーキングベース）の中で作業に従事している様子や、就職に向けた講座を受講している様子もお披露目させて頂きました。

後半には3Fホールにて竣工式典を行い、来賓の方々からのご祝辞を頂き、法人からの工事完了のご報告等の上、最後に竣工に際し尽力頂きました建築事務所や建設会社への感謝をお伝えし、滞りなく無事皆様へのご報告と感謝の気持ちをお伝えすることが出来ました。

改めて当日、ご参加いただきました皆様には年度末にもかかわらず足をお運び頂いたことへの御礼と、たくさんの労いとお褒めの言葉を頂き、感謝申し上げます。



宮本市長からの祝辞（左）と会場の様子（右）

新園舎の建築にあたっては松尾統括施設長の3つの熱い思いがありました。

これから社会の中で働き、暮らしていく利用者達のことを考え、過度な設備は控え、アナログの部分を残し、できるだけ公共の場や企業等とのギャップを避ける環境づくりを、また利用者の様々なニーズに応える職員にとって働きやすい場となること、そして家族を含めた利用者みんなの長い拠り所（居場所）となること、を目指して頑張ってくれました。

これからも利用者達がこの園舎での学びを通し、「自分でできることは自分で」や「ルール」「マナー」をしっかりと学び、地域で長く安心して働き、暮らすことを実現してほしいと思います。

この園舎がきれいに大切に使われ続けていくと共に、「しっかりと」そして「あたたかく」の支援を大切に法人一同、一生懸命に取り組んで参りたいと思います。

建物概要

- 敷地面積 1650.03㎡
- 建築面積 550.73㎡
- 構造 鉄骨造（耐火建築物）
- 基礎 杭基礎
- 規模 3階建て＋塔屋
- 最高高さ 14.85m（塔屋含）



法人と施設のロゴマークもあたらしくなりました

WORKING BASEの「BASE（ベース）」とは

- ①拠点 法人本部の拠点（母体）
- ②基点 活動の基となる場所「（再）出発地点」「（企業等からの）還る場」
- ③基礎 「働くことを通して」の地域生活の「基礎」を学ぶ場
- ④基地 利用者、卒園生、家族等「みんなにとって」の居場所

実施サービスの概要

- 多機能型：自立訓練（生活訓練）事業 定員 20名
- 就労移行支援事業 定員 30名
- 就労継続支援B型事業 定員 30名
- 就労定着支援事業 契約者 約 40名
- 本場を本部とするその他事業
 - 共同生活援助事業 定員 28名（6ホーム）
 - 短期入所事業（単独型） 定員 2名
 - 障害者就業・生活支援センター 登録者 約 1,000名
 - 日中一時支援事業 定員 6名

「働く」・「学ぶ」の活動（効果）を最大限に

- ・限りある活動時間を最大に活かすために
年齢を重ねた方、移動に配慮が必要な方への省力、省時間を考えたレイアウトに。
- ・働く活動がさらに充実
これまでよりも作業場（ワーキングベース）の数が増え、大きく拡大。
また、作業環境の整備により、さらに幅広い業種や多様な作業が可能に。
（例：換気システムによる異物混入対策等）
- ・個人の状況に合わせたきめ細やかな対応
体調不良や気持ちの落ち着かない時に静養したり、少し話をしたり、
といった個別での対応が可能な静養室や相談室が増設されました。
- ・様々な学習の機会を
ひとり一人の興味や課題に合わせた各種講座は目的や規模に応じて、
個室やホールテラス等様々なスタイルでの実施が可能となりました。
- ・「これから」を見据えて
ITルーム（パソコン学習）やトレーニングルームの整備等、これから必要となる
スキルや取り組みも計画されています。

建物・サービス概要

① 安全性

安全・安心を第一に

- ・高い防火基準をクリア
館内は防火素材を使用しています。また各所に熱、煙探知機が設置され自動で消防署へ通報される設備が整備されています。
- ・耐震性
地下20mに31本の杭を入れての基礎構造となっています。また、東京湾からの万が一の津波にも備え、屋上（約13m）に高所避難場を整備
- ・入館セキュリティの強化
施錠型自動扉の設置により、身元不明者の侵入を防ぎます
- ・安全カメラの設置
正確な情報をもとにした事故やケガの予防に役立ちます
- ・高性能換気システムの設置
室内の空気を外に排出し常に新鮮な外気を取り込みます。また人数が集まりCO₂濃度が高まるとアラームで知らせ、感染症の（空気感染）予防にも大きな効果があります。



新園舎 3つの性能

② 機能性

③ 快適性

毎日通いたい、と思ってもらえる環境を

- ・国内最大規模の就労支援施設でもゆったりとした空間を
定員は多くても一人当たりの専有面積（活動の広さ）は国の基準の約3倍。
- ・幅広い障がいや年齢を重ねても通い続けるために
館内は段差をなくし、手すりや多目的トイレ等を設置したバリアフリー構造。
エレベーターも設置されています。
- ・個人のスキルや今後のステップアップに合わせて
靴箱、ロッカー、貴重品ボックス等、
個人のスキルや就職先を見据えての設備が充実しています。
- ・専属のシェフによる昼食の提供（※給食の提供は本場のみ）
季節感のある見た目や味も満足の豊富な手作りメニューです。
- ・仕事と休息のメリハリもあかね園の自慢
仕事の合間の小休憩や昼休みには、仲間や職員とリラックス。
3階のテラスは解放感抜群で自然に皆が笑顔になる空間です。



記：統括施設長 松尾



『これまでのお礼とこれからのお願い』



日頃よりあひるの会後援会に多大なるご理解とご協力を頂き深く感謝申し上げます。

おかげさまで、この厳しい時代の中でこの度、あかね園の新しい園舎が完成いたしました。約40年前、障害を持つわが子の行く場所がないと、数人の親たちが資金を出し合い、それを基に作られたのがあかね園の始まりです。その時の借入金返済の協力をと親たちはあらゆる努力を惜しみませんでした。その中で生まれ、長年続けられたのがボランティア活動です。自分達に出来ることを考え、工夫して様々な手芸品を作りました。毎年バザーが開催され、親の活動は更に活発になりました。地元企業にも協力をお願いし、地域の人々にも受け入れられ、「今年はいつ？」と声をかけていただけると知られるようになりました。

開園と同時に後援会（当時は友の会）も発足し、会費のお願いのみならず、バザーも含め、コンサート等多くの方々からご協力を頂きながら後援会の役割を果たすことが出来ましたのも、長年にわたって多くの皆様からのご協力あってのことと、ここに改めて深くお礼申し上げます。

これらの活動の中で培われた親同士の繋がりや、共通の悩みを持って出会った者同士、前へ進む為の大きな力になりました。このような経験が出来たのも、あかね園という拠点があったからと言えます。

時代と共に求められる支援も多岐に渡り、複雑になっていることと思います。時代が変わっても、その時に必要な支援が必要な人に届けられる施設であり、羽を休めに戻っても来られる場所であり、いつでも誰でも相談できる場所であることを願い、後援会は「WORKING BASE」として新たにスタートしたあかね園を後方から支えて行きたいと思えます。

最後になりましたが、この度、設立と同時に長年代表を務めてまいりました国松から、不肖中内が引き継ぐことになりました事をご報告させていただき、合わせて、これまで同様のご支援を頂きますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

あひるの会後援会 中内 純子



園 日 誌



千葉 有紗

私は今年度から障害者就業・生活支援センターに配属となりました。担当圏域にお住いの方を中心に、関係機関と連携しながら就業面と生活面のサポートを行っております。登録者は1,000人近くおり、この時期は特別支援学校卒業生の登録ラッシュが始まっています。それ以外にも企業・学校・支援機関等にご参加いただく「地域意見交換会」、「企業向け企業見学会」、就労して

いる卒園生向けの「ふれあい会」、就労者全体に向けて行う「在職者交流会」など、どれも初めての体験ばかりでした。

また、昨年12月には待ちに待った新園舎が完成しました。園生向けの竣工式では、大役の司会を任せられ、とても緊張しましたが、式が進行し、青空の広がる中、バルーン（風船）リリースや記念映像上映中の中で利用者さんたちから自然と拍手が起こったことがとても印象的でした。

引っ越しもひと段落し、1月からは新園舎での活動がスタートしましたが、今後も沢山の出会いを大切に、傾聴力を高め、丁寧な支援を心掛けていきたいです。



後援会へのご入会を
お願いいたします。

一般会員(年間一口 3,000円) 法人会員(年間一口 10,000円)
郵便振替 00260-1-88365 口座名:あひるの会後援会
銀行振込 千葉興業銀行 津田沼支店 普-4771251
口座名:社会福祉法人あひるの会 後援会 代表 中内純子
入会申込み、問合せは事務局まで
047-452-2715 Fax 047-452-2693

編 集 後 記

会員の皆様におかれましては常に変わらぬご支援を頂き心より感謝いたします。

今後も、本人をはじめ家族にとっても心のよりどころであるあかね園を、後援会はバックアップしていく重要性を再認識した次第です。(K)

編集人 あひるの会 後援会代表 中内純子
発行所 社会福祉法人あひるの会 後援会
〒275-0024 習志野市茜浜3丁目4番5号